

バスケットボールやバレーボールが生まれて約百年。それに対してテニスの歴史は古く、手や板きれやグローブでボールを打つボールを打ち合う遊びもテニスにふくめるとすると、起源は、紀元前3000年にさかのぼると言われています。しかし、テニスの起源については、はっきりしたことはわかっておらず、いろいろな起源説があります。



ウイングフィールド

現在、行われているテニスは、「ローン・テニス」(ローンは芝のこと)で、約100年前、イギリスのウイングフィールドがルールや組織を統一して誕生したのでした。それ以前は、「リアルテニス」「ロイヤルテニス」とよばれる、室内で行われるテニスがありました。ロイヤルとは王様の意味で、国王がテニスを楽しんでいたことから名付けられたのです。今とはちがひ、テニスは室内で行われていて、テニスを楽しむための専用の球戯館きゅうぎかんが都市には建てられていました。



1632年当時のコーブルクの球戯館

イギリスの、この室内テニスは、フランスから13世紀ごろ伝えられました。フランスには、「ジュ・ドウ・ポーム」とよばれる、貴族や身分の高い人たちの間で行われているボールゲームがありました。イギリスではこの「ジュ・ドウ・ポーム」を他のボールゲームと区別するために、「リアル(本当の)・テニス」と呼んだのでした。

それでは、「ジュ・ドウ・ポーム」以前はどうだったかということですが、これには、さまざまな説があり、主なものをあげると、次のようになります。

古代エジプト説

今から5000年前、ナイル川河口にあった町、タミス(TAMIS)あるいはチニス(TINNIS)と言う町で行われていたボールゲームが始まりだと言う説。(テニスは英語で TENNIS と書く)

古代ギリシャ説

約3000年前、ホメロスの詩「オデュッセイヤ」の中に書かれている女王ナウシカが楽しんだボールゲームが発展したものという説。

東ローマ帝国説

東ローマ帝国(330~1453年)で行われていたポロ(馬に乗り、スティックでボールを打ち合うゲーム)が発展してできたものだという説。

サラセン帝国説

7世紀に、アラビアでおこった国、サラセン帝国で行われていた遊びで、手のひらでボールを打ち合うゲームが発展してできたという説。(英語のラケット<RACKET>の語源は、アラビア語の「手のひら」を意味する「ラーハ」からきていることがこの説の強み)

メキシコ・インディアン説

トルテック族が行っていたトラッチリというゲームで、ボールをおしりやふとももで打つといった宗教的な儀式で行われたもの

などと、研究家の間でもいろいろな説があり、テニスの起源については、いずれの説も一長一短で決めてとなるものが不十分だとされています。要するに、「ジュ・ドウ・ポーム」がテニスの原型で、それ以前には、多くの民族の間で、ボールを打つ遊びが行われていたと言えるでしょう。

…11世紀

13世紀

19世紀後半

イギリス

(ファイブスは手でボールを打つ遊びでした。)

_____ ファイブス _____

_____ リアル・テニス(ロイヤル・テニス) _____

イギリスへ
伝わる

フランス

_____ ジュ・ドウ・ポーム _____

_____ テニス _____ 現在に
(ローン・テニス)

ウイングフィールドがルール
を統一したと言われています。
